

伝言板

No.26(H28.11)



NPO法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

平成 28 年度「みなとサポート事業」支援概要…… 1
平成 28 年度北海道開発局防災エキスパート
(港湾・空港・漁港) …………… 3

平成 28 年度助成事業「評価審査委員会」および
「採択事業」 …………… 6
平成 28 年度「支部長等会議」の開催…………… 9
平成 28 年度事務局・支部体制 …………… 10

平成 28 年度「みなとサポート事業」支援概要

札幌支部

石狩湾新港「みなと見学会」

開催日：6月14日(火)・15日(水)・16日(木)

開催場所：石狩湾新港港内

開催概要：石狩市内の小学3年から5年生387名を対象に小樽港湾事務所が、みなとの役割についてパネルを活用した勉強会および港湾業務艇に乗船し、みなとの活動を見学(毎日4航海)

サポーター：1日2名で6名が支援

支援状況：港湾業務艇への乗降時の誘導、安全警備、救命胴衣の着脱支援、当機構の記念グッズを小学生に贈呈



岩内港「みなと見学会」

開催日：7月6日(水)

開催場所：岩内港港内

開催概要：岩内町の小学3年生91名を対象に小樽港湾事務所が、港湾業務艇に乗船し、約20分間みなとの活動状況を見学(4航海)

サポーター：2名が支援

支援状況：港湾業務艇への乗降時の誘導、安全警備、救命胴衣の着脱支援、当機構の記念グッズを小学生に贈呈

小樽港「みなと見学会」

開催日：7月17日(日)

開催場所：小樽港港内

開催概要：海の月間(7月1日~31日)関連事業として、小樽港マリナを中心に開催される「マリン・フェスタ in 小樽」に小樽港湾事務所が参加し、港湾整備事業の理解と啓発を目的に、一般市民を対象に湾業務艇からのみなと見学会(5航海)

サポーター：4名が支援

支援状況：港湾業務艇への乗降時の誘導、安全警備、救命胴衣の着脱支援、当機構の記念グッズの配布及び当機構の着ぐるみとの記念撮影



苫小牧支部

苫小牧港「みなとパネル展 2016」

開催日：7月9日(土)・10日(日)

開催場所：イオンモール苫小牧

開催概要：苫小牧港湾事務所で実施している港湾整備事業を一般市民に広く理解してもらうことを目的に「みなとに船!いろいろ!発見!とまこまい港」をテーマにしたパネルを展示

サポーター：2名が支援

支援状況：会場案内、パネル説明、クイズラリー、ぬり絵、当機構の着ぐるみによる撮影



室蘭支部

室蘭港「みなとパネル展」

開催日：7月18日(月) (海の日)

開催場所：道の駅「みたら室蘭」

開催概要：室蘭港の港湾施設および室蘭開発建設部の各事業を25枚のパネルで紹介(約350人が参加)

サポーター：2名が支援

支援状況：入場者の誘導、パネル説明、アンケート配布回収



函館支部

函館港「みなと見学会・パネル展」

開催日：7月23日(土)・24日(日)

開催場所：函館港港内および函館国際水産・海洋総合研究センター

開催概要：「はこだてマリンフェスティバル 2016」の一環として、函館港湾事務所が、みなとのパネル展・みなと見学会を実施(みなとパネル展には約250名、見学会には128名が参加)

サポーター：1日2名で3名が支援

支援概要：パネル・港湾施設の模型などの説明、救命胴衣の着脱支援、乗降時の誘導、当機構の記念グッズの配布



北海道開発局防災エキスパート (港湾・空港・漁港)

平成18年4月に発足した防災エキスパート制度は、港湾・空港・漁港施設などの整備、管理に専門知識を有した防災エキスパート登録者が、大規模災害時に、北海道開発局港湾空港部より要請を受け、支援活動を実施するものです。

平成28年度防災エキスパート新規登録者認定式

10月4日(火)、札幌第一合同庁舎北海道開発局港湾空港部長室で、防災エキスパート新規登録者認定式が行われました。今年度は5名が笹島港湾空港部長から登録通知証の公布を受けました。また、6名が退任して防災エキスパート登録者は29名となり、今後この体制で活動して行くこととなりました。



認定者と港湾空港部幹部

平成28年度北海道開発局防災エキスパート研修

今年度の研修は、防災エキスパート新規登録者認定式のあと引き続き開催し、エキスパート23名が参加しました。

主催者として笹島港湾空港部長から、「今年は台風が4度本道に上陸し、道路、河川、農業が甚大な被害を受けました。幸いにも港湾、空港、漁港については、大きな被害がありませんでしたが、港湾関係の大規模災害もいつ発生するかわかりません、そのためにも当研修は重要であると考えています」との挨拶がありました。



笹島港湾空港部長の主催者挨拶



登録通知書・登録証明証・腕章



続いて、事務局の港湾建設課から防災エキスパート制度と近年の災害状況について説明がありました。防災エキスパートリーダからは、防災エキスパートの経緯、活動報告および、平成26年度から始まった、各開発建設部と防災エキスパート意見交換会について紹介がありました。また、事務局から平成28年度の冬季風浪通過後に港湾事務所が実施する施設点検に、防災エキスパートが同行する模擬の「現地確認行動」を実施して欲しいとの提案があり、今後該当港湾事務所（3～4事務所）と調整する事となりました。

研修の後半は、「防災エキスパートの派遣要請の可能性がある中で、防災エキスパートはどのような準備をすべきか（個人、役割分担など）」、また、「正式な派遣要請を受け各港の調査支援を行うにあたり、どのような初動対応をすべきか」を検討テーマに防災エキスパートを南地区（函館、室蘭）、東地区（釧路、帯広、網走）、北地区（札幌、小樽、留萌、稚内）の3グループ（7～8名）に分け、各建設部から参加した開発局職員2～3名も加わり10名程度で、「派遣想定演習（図上訓練）」を実施しました。演習終了後各グループの担当者から、被災現地までの移動手段の選択、支援期間の見通し、それに伴う宿泊施設の確保、勤務会社との調整、支援行動範囲のマニュアル化などの多くの意見が出され、演習を終了した。

備をすべきか（個人、役割分担など）」、また、「正式な派遣要請を受け各港の調査支援を行うにあたり、どのような初動対応をすべきか」を検討テーマに防災エキスパートを南地区（函館、室蘭）、東地区（釧路、帯広、網走）、北地区（札幌、小樽、留萌、稚内）の3グループ（7～8名）に分け、各建設部から参加した開発局職員2～3名も加わり10名程度で、「派遣想定演習（図上訓練）」を実施しました。演習終了後各グループの担当者から、被災現地までの移動手段の選択、支援期間の見通し、それに伴う宿泊施設の確保、勤務会社との調整、支援行動範囲のマニュアル化などの多くの意見が出され、演習を終了した。



演習状況



南地区の発表



東地区の発表



北地区の発表

最後に伊藤港湾建設課長から、「平成18年度から今日まで防災エキスパートの出動要請はしていませんが、今日の演習からも事務局が検討しなければならないこと、エキスパートリーダーおよび、エキスパート個人が準備しなければならないことなど多くあります。結果として行動は準備したことしかできないのが実態です。頭で考えても実際に行動してみなければ課題抽出の深掘はできません。模擬訓練などをおしで制度の充実を図っていきますので、引き続き協力をお願いします」との挨拶あり閉会しました。



伊藤建設課長の閉会挨拶

北地区（札幌・小樽・留萌・稚内）意見交換会

9月15日（木）、稚内開発建設部港湾関係職員と北地区防災エキスパートの意見交換会を稚内市で開催しました。

開発建設部職員19名（内1名留萌開建）、防災エ



港内視察状況

キスパート北地区担当者およびエキスパートリーダー9名が参加しました。

稚内港の現状を把握をするため、港湾業務艇に乗船して港内を視察し、杉山稚内港湾事務所所長から港湾施設の整備状況や、取り扱い貨物などの説明を受けて、稚内港の重要性を改めて認識しました。終了後、稚内開発建設部会議室に移動し意見交換に移りました。

始めに、丸井次長（港湾・農水担当）から挨拶を受け、防災対策官から建設部内における近年の災害発生状況および防災・減災などの取り組みについて、防災エキスパートリーダーから制度の概要、活動状況について説明をしました。

意見交換では、防災エキスパートの具体的活動内容についての意見が中心となりましたが、稚内市は、道央圏から遠隔地にあるため移動時間の問題、更さらに交通網が寸断された時には、防災エキスパートの出動が困難になることも予想される。また、稚内開建の職員数の関係で、今回の大雨災害のような事案が発生した場合に、リエゾンやTEC-FORCEの派遣で人手不足になることが予想されるため、各部門の防災エキスパートなどとあらゆる機関と連携した災害対応について、事前に検討しておく必要がある。防災エキスパートからは、どのような支援活動が必要なのか、事前に検討してもらい、それらを双方で共有することで迅速な対応が可能になるとの意見がありました。

終わりに、秋浜技術管理官より閉会の挨拶があり、有意義な意見交換会となりました。



意見交換会場



■平成 28 年度 事務局・支部体制

平成 28 年度の事務局体制については、年度当初 9 名でスタートしましたが、新たに 3 名の方が事務局次長として参加することになりました。各支部体制については変更ありません。

活力あるみなとまち作りを会員の皆様と共に進めてまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

事務局体制

役職	氏名	役職	氏名
事務局長	福岡 康宜	事務局次長	三原 一憲
事務局次長	毛利 照男	事務局次長	岸 哲也
事務局次長	東 志郎	事務局次長	中内 勲
事務局次長	市来 隆	事務局次長	秋葉 洋一
事務局次長	渡部 優	事務局次長	高田 稔年
事務局次長	渡辺 修司	事務局次長	松崎 重貫

支部体制

役職	氏名
札幌支部長	山本 博
札幌支部次長	澤合 英治
函館支部長	高森 孝紀
函館支部次長	阿部 俊六
室蘭支部長	中野 克彦
苫小牧支部長	小山 良明
釧路支部長	平山 裕義

■会員募集

当 NPO 法人は、地域社会の産業活動の場である港の効果的、効率的利用の促進や港を核としたまちづくりなどにかかわる個人及び団体への支援活動を行うために、この事業に賛同される会員各位のご協力により支援活動などを行っています。

今後支援活動など、より一層の充実を図るため、より多くの皆様が当 NPO 法人が行う支援活動などにご理解・ご賛同願ひ会員登録いただきますようお願いいたします。

会員各位に於かれましても、改めて当法人の趣旨をご理解いただき、会員誘致にご協力をお願いします。

お知り合いの方で入会ご希望の方がいらっしゃいましたら、下記の事務局連絡方法により事務局へお知らせくださるようお願いください。追って入会申込書を送付させていただきます。

事務局連絡方法

当機構事務局への連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこととございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人 北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号
セントラル札幌北ビル 5F